



世界自然遺産の島
屋久島

No.27
平成26年
6月

屋久島町 議会だより



「さわやか あいさつ 永田小」の元気な子どもたち

シリーズ〔学校紹介〕③永田小学校（P15へ続く）

《主な内容》

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ◇第1回定例会 P2~13 | ◇一般質問 P8~13 |
| ◇総括質疑 P3 | ◇全員協議会 P14 |
| ◇常任委員会 P4~7 | ◇シリーズ[学校紹介] P15 |

第1回定例会

定例会

3月6日
～20日



146億7459万5千円

◎平成26年度一般会計当初予算

91億3900万円

26年度一般会計当初予算は、前年度比1億405万2千円(1.2%)増の91億3900万円。

主な事業は、本庁舎基本計画や木材調達に係る本庁舎整備事業(3286万1千円)、ごみ処理施設管理費(3億3487万2千円)、防災行政無線整備事業(4億5550万円)などである。

性質別では、普通建設事業が1億8962万9千円増の10億7902万6千円、人件費・公債費及び扶助費の義務的経費は2億2170万1千円減の44億8762万円、物件費などその他の経費が1億3612万4千円増の35億7235万4千円となっている。

◎平成26年度特別会計当初予算

(単位：千円、%)

会計名	予算額	前年度比	一般会計からの繰入金
簡易水道事業	596,953	17.5	153,000
国民健康保険事業	2,164,876	△2.5	231,581
介護保険事業	1,299,430	4.0	245,836
診療所事業	188,668	△2.0	60,244
農業集落排水事業	63,245	59.7	26,383
船舶事業	318,239	6.5	35,357
電気事業	698,684	4.4	-
後期高齢者医療事業	145,000	7.9	69,898

◎平成25年度補正予算

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	52,715	9,776,547
特別会計	簡易水道事業	△789
	国民健康保険事業	△16,789
	介護保険事業	4,575
	診療所事業	△3,748
	農業集落排水事業	△1,441
	船舶事業	△24,832
	後期高齢者医療事業	△1,936

◇昨年12月17日に発生した「フェリー太陽」の海難事故に伴う船体修繕費等の経費1521万2千円及び船舶事業特別会計予算7472万6千円の専決処分を承認し、一般会計予算総額を97億2383万2千円、船舶事業特別会計予算総額を3億9071万8千円とした。

◇公共施設整備基金積立金、町道荒川線法面保護工事費、一湊小・八幡小耐震改修工事費等を計上。財源として地方交付税等を充て、予算総額を左表のとおりとした。

議員表決一覧（賛否の分かれた議案等のみ） ○は賛成 ●は反対 ※議長を除く

件名	議員名 結果	石田尾	日高忠方	緒永野	山崎	真辺有	岩川修	小脇	下野	岩川俊	日高豊	真辺万	寺田	渡辺	満園
		○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	採決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○
消費税改正等に関する関係条例の制定	採決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
電気事業供給条例の一部改正	採決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
平成26年度一般会計予算	採決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○
平成26年度簡易水道事業予算	採決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
平成26年度船舶事業予算	採決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
平成26年度電気事業予算	採決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

第1回定例会・総括質疑

◎その他

指定管理者の指定案4件、条例案15件、同意案1件〔教育委員会委員の任命=鎌田道隆氏（楠川）〕、その他1件が提案され、すべて原案のとおり可決、同意した。

また、「TPP交渉に関する意見書」及び「屋久島高校に中種子養護学校の分教室設置を求める意見書」並びに専決事項の指定の発議があり、すべて原案のとおり可決した。

◎請願・陳情の審議結果

◇「中種子養護学校高等部の分教室設置に関する請願」について ⇒ 採択

◇「健康の森公園多目的広場の整備に関する陳情」については、この広場はグラウンドゴルフ専用ではなく、多目的広場であることなどから「広場の水溜りの解消を図ること」については採択、その他は不採択と決定した。 ⇒ 一部採択

◇「一湊中学校跡地利活用に関する陳情」について ⇒ 採択



水溜りの解消(健康の森公園)

総括質疑

所属する委員会以外のことについて本会議で質疑を行なうものです。

問 空き缶処理委託料はどのような性質のものか。また委託先はどこか。

答 クリーンサポートセンターで計量し、廃掃法に基づいて処理費用を算出し、随意契約している。委託先は地元業者である。

問 野生動物保護管理対策事業委託料とは。

答 長峰牧場周辺、愛子岳周辺、西部地区で夜間鹿の生息を観測するためのものである。

問 屋久島杉材の魅力再発見事業委託料とは。

答 本年度から本庁舎建設事業を進めるところであり、調査建築基本計画、基本構想等の策定が進んでいく予定である。庁舎を木造でつくつて終わりではなく、本庁舎の建設を契機に将来の林業振興につなげていくための調査である。

答 荒茶加工施設の指定管理者について、指定の期間が1年間というあり方については、管理する北部地区茶生産

組合の経営状況が厳しいとのことで、今後は農林水産課の担当が、経営状況の確認をしながらしていく。

問 山岳部保全補助金は、歳出・歳入等を含め逆軸になっているが、解消のための取組みは。

答 平成26年1月末の山岳部保全基金の残額は548万3千円で、3月まではほぼ変わらないと思うので、今年度はこれを基本に募金活動しながら山岳対策を使っていく。

問 宮之浦川上流域の事業計画については。

答 屋久島らしい渓谷を含むこの景観は島内でもすぐれた景勝地である。このため、林地活用計画の中で協議を進め、その計画を再度国と協議をしていく。

問 上田地区道路新設工事のこれまでの経緯と今後の計画は。

答 上田地区は、合併前から建設残土を捨て、そこを整地する計画があつた。上田地区管理組合から町に対し、区画整理をしながら開発するという話があつたらしいが、資料が全く無いため再度協議を行つた。その結果、道路を入

れて欲しいとの要望があり、町長に決裁を受け、財源ができたら道路を入れる確約をし、管理組合も納得した。土地は無償提供ということで、既に町有地に分筆して所有権移転し、今年度予算に計上した。

問 農業集落排水事業の予算増の根拠は。

答 10年経過し、機器等の劣化による故障が増え、それを整備するため、機能強化対策事業を導入することになった。平成24年度に農業集落排水機能強化対策費の計画書を作成し、本年国の採択を受け、平成26年度から3年かけて機器等の更新等を行うものである。

問 簡易水道事業の赤字解消の時期は。

答 平成27年度一般会計から多少繰入れはするが、今年度で繰上充用は解消する見込みである。

問 不快害虫等蔓延防止対策事業費は昨年の実績みて、1年分を見込んだものか。

答 平成25年度は一般財源と緊急雇用を併せて12カ月分を、今年度は10カ月分を計上し

常任委員会

常任委員会審査報告

付託された議案を質疑、討論し採決まで行います。

産業厚生常任委員会

付託された案件は条例案3件、予算案8件、その他の案件4件。質疑応答等の主なものは次のとおり。

コミュニティプラザ屋久島館の指定管理者の指定

特定の指定管理者は公募するのか。



屋久島青少年旅行村の増収対策は



屋久島青少年旅行村の指定管

理者の指定
運営状況は。
ここ数年黒字であるが、
かなり収入が減少してきてい

口永良部島本村温泉の指定管理者的の指定
参考にして運営状況が向上で
きるよう検討してほしい。

楠川荒茶加工施設の指定管理者的の指定
参考にして運営状況が向上で
きるよう検討してほしい。



諸改善が望まれる楠川荒茶加工施設

農業委員会委員の選挙に関する条例の制定
公選・議会推薦・団体推薦の人数について委員の意見等はどうか。

定数については妥当だと
いう意見でまとまっている。
消費税法改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
これをしないとどうなる
のか。

総務省から適切に対応する
ように通達がきており、
3%は適切に対応する。

町報等での周知をしつかりやつてほしい。

電気事業供給条例の一部改正
屋久島電工からの購入費も消費税分が値上げされると
思うが、概算で年間どれくらいになるか。

2000万円の増額となる。

8%で試算すると約
3%の値上げが滞納額の
増加につながらないよう努力

るので、石楠花の森公園は切り離し、旅行村のみを指定管理したい。

ボイラーの修繕やエアコン6台の取り替えを予定している。

今回の指定は1年といふことだが、様子見という認識でいいか。改善すべきところを指導している状況なので、1年に施設の状況は。

ボイラーの修繕やエアコン6台の取り替えを予定している。

漁船がわざわざ給油所に行かなくても直接給油できるようにするため。

有害鳥獣対策事業でサル柵、シカ柵をもっと徹底すべきでは。

個人の圃場を囲うより集落全体を囲う方が効果的なので、その方法をとりたい。

生活保護認定の査定が県がしていたときより、甘くなつていなか。

県から引き継いだときより認定は少なくなつてきていてるので、そういうことはない。

特定健診の受診率は目標をクリアしないとペナルティもあるので受診率を上げる努力をしてほしい。

し尿処理施設の修繕で、同じことを2・3年おきにしているようだが、そういう方法しかないのか。

広域連合時代からメンテナンスも含め、すべて委託していったが、現在地元業者にお

してほしい。

一般会計予算(分割)

種子島周辺漁業対策事業補助金のタンクローリー導入の詳細は。

常任委員会



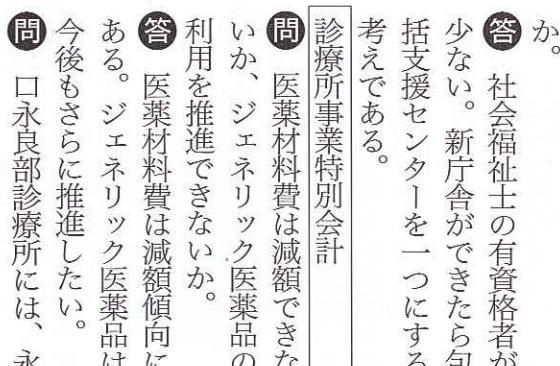
速やかな炭化物の処理を
(クリーンサポートセンター)



魅力ある観光地づくりの一翼を担う観光協会



常駐医師が不在となった口永良部診療所



問 医薬材料費は減額傾向にいか、ジェネリック医薬品の利用を推進できないか。
答 今後もさらに推進したい。口永良部診療所には、永

以上、付託された案件は、全て原案のとおり可決すべきものとした。

願いし経費削減に努めている。

問 空き缶処理業務で、最終処分まで町がするのはおかしいのでは。

答 最終処分は町がしなければならないのを、中間処理を行っている業者に委託している。

答 今後の課題として進める。

問 炭化物の処理で契約どおりに履行されていないが。

答 平成27年9月までの期限なので26年度の経過を踏まえ、町でやるという方向も含めて検討しなければならない。

問 魅力ある観光地づくりの主な事業内容は。

答 ①食、②新幹線を利用した関西、中国、四国、北九州あたりを戦略的に対応、③悪天候時の魅力的なプログラムの開発、3つの柱である。また、これらを含めた観光基本計画が必要だ。

問 次年度以降は誰もが納得する方向で競争させてほしい。

答 指名推薦委員会で廃掃法に適合した業者であることから、契約に至った。

問 次年度以降は誰もが納得する方向で競争させてほしい。

答 次年度以降は誰もが納得する方向で競争させてほしい。

から、お互い協議して欲しい。

問 危険家屋解体撤去費5件分計上しているがもつとあるのでは。

答 今年度は当初予算では足りずに補正した。平成26年度も同様に対応したい。

簡易水道事業特別会計

宮之浦の吸水管取り替え工事が1年延びたことで今後の予定は。

問 国民健康保険事業特別会計

平成27年度にいなか浜を実施する予定である。

問 現在、貸付制度はどうなっているか。

答 制度はあるが利用者がいないので、高額療養費で支

払っている。

問 出産育児一時金について過去に本人へ支払い後、本人があつたが現状は。

答 町から直接病院に支払っている。

介護保険事業特別会計

要支援1と2が地方に移行されるが、地域包括支援事業との兼ね合いはどうなるか。

問 現在の地域包括支援センターのスタッフは足りるか。また、移行がスムーズにいくか。

答 財源の構成は変わらず、要支援1と2の訪問介護と通所介護が地域支援事業に入り新しい事業となる。

問 現在の地域包括支援センターのスタッフは足りるか。また、移行がスムーズにいくか。

答 社会福祉士の有資格者が少ない。新庁舎ができたら包括支援センターを一つにする考えである。

田診療所から出張して診療するのか。また、今後の医師についてはどう考えているか。

答 そのとおりである。今後については鹿児島大学医学部地域医療センターや前の栗生診療所の医師に相談するなど、検討している。

農業集落排水事業特別会計

下水道事業の償還期間は30年である。平成26年度から3カ年で工事をし、平成28年度から借り入れして平成58年度までかかる。

問 後期高齢者医療事業特別会計

利益積立金は受益者に配分したり、値下げなどは検討されないか。

問 後期高齢者医療事業特別会計

以前購入費の値上げがあつたとき差額分は据え置きしているので、現時点では検討していない。

問 後期高齢者医療事業特別会計

域でやつた方が本町のためになるのか。

答 そうだと思う。

常任委員会

総務文教常任委員会

付託された案件は、条例案

13件・予算案2件・請願1

件・陳情2件。審査における

主な質疑応答は次のとおり。

地域雇用創造推進協議会運営

資金貸付条例の制定

問 地域雇用推進協議会の今後は。

答 協議会に対しても、将来的には自力での運営になることを伝えているが、不足の部分は町が継続していかなければならぬとを考えている。

問 協議会の事業内容は。

答 事業者と起業を目指す人を対象としたセミナー開催や、仕事を求める人たちへの研修、観光資源の開発、そしてポータルサイトの運営などがある。

問 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

答 平成21年度以降、住宅料について通知していなかつたことは町のミスであった。住宅料が1万円以上値上げになつているところには、職員は直接出向いて説明するよう

答 手当廃止の国の通達を受けた提案で、平成26年度は月額1500円とするが、27年度からは廃止する。

特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

問 これまでより40万円増額して、顧問弁護士を特別職の職員にする必要性は。

答 経費的に判断すると、裁判になった場合、別途払う訴訟費用や職員研修にかかる経費が抑えられると思っている。

問 海上保安庁の応援隊の位置づけは。

答 置づけで潜水救助活動も含まれる。

問 消費税法改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

答 安房総合センター条例には、商業宣伝その他、営利などを目的とした利用が認められているが、宮之浦総合センターにはそれがなく整合性がない。調整すべきでは。

問 入湯税徴収の妥当性に疑問を感じているが。

答 ホテルへの確認では、入浴数はバスタオルの数で申告しているということであった。

問 町消防団の水難救助隊の位置づけは。

答 繼続事業となり、1年延長となつた。

問 中山間整備事業は廃止されたのではないか。

答 以前の構想のような事業はできない。尾之間の集落事務所と協議している。

問 一般会計予算(分割)

答 3月に発足した空港利用促進協議会と既存の整備利用協議会を一本化できないか。

問 「整備利用促進協」は郡内市の市町長、県議などで構成、地元代表は入つていな

い。航路開設には地元の熱意が重要との判断から「利用促進協」を立ち上げた。熊毛全体で取り組むという意識も重要なことで、一本化ということは考えていない。

問 体育施設条例の一部改正

答 体育館の使用料が、テニスコートの使用料の2倍になつていている理由は。

答 体育館の使用料には、使用する電気代が含まれている。

問 町営住宅管理条例の一部改正

答 本年度8戸を予定していたが、結果として5戸になつた。

問 教職員住宅の一般住宅化の現状は。

答 本年度8戸を予定していたが、結果として5戸になつた。

問 町営住宅管理条例の一部改正

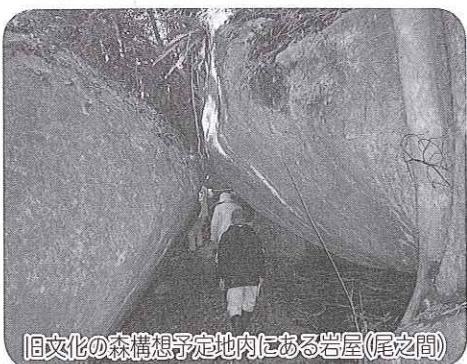
答 本年度8戸を予定していたが、結果として5戸になつた。

問 体育施設条例の一部改正

答 本年度8戸を予定していたが、結果として5戸になつた。

問 消防団員の定員、任免、給与、

正 服務等に関する条例の一部改



問 「文化の森」構想が打ち出されているが、土地購入が済んで、10年以上も経つてから検討する理由は。

答 以前の構想のような事業の一環としてまちづくり検討委員会と協議している。

問 3月に発足した空港利用促進協議会と既存の整備利用協議会を一本化できないか。

答 「整備利用促進協」は郡内市の市町長、県議などで構成、地元代表は入つていな

い。航路開設には地元の熱意が重要との判断から「利用促進協」を立ち上げた。熊毛全体で取り組むという意識も重要なことで、一本化ということは考えていない。

問 オフトークの回線使用料は。

答 月額21万円で、ほかに音楽著作権が年額2万円かかっている。オフトークは、27年2月で放送終了予定である。

問 熊毛消防職員の町内間交流の現状は。

答 人事は両分遣所長の意見を聞きながら、最終判断は熊毛消防本部が行つてている。現

常任委員会



人事交流の効果は？（南分遣所）

在5名だが、3名程度がいいのではないかと申し入れしている。

人事交流は必要とは思うが、緊急時の対応に問題も感じる。必要最小限にとどめるべきと思うが。

答 交通費など、経費を抑えている意味からも班編成を行なっている。

問 熊毛消防組合への負担金の内訳は。

答 熊毛消防組合への負担金4億円のうち、1億2000万円はデジタル無線化、2億円は共通経費と本町の分遣所、8000万円は人件費な

ど本部経費の負担金である。地域の申し入れで屋外放送を停止しているところがあるのではないか。

答 そのようにしたい。これから設置する個別受信機については、改めて戸別に確認して進みたい。

問 庁舎建設予算の内容は。

答 スケジュール、コンセプトなどの設計概要、職員、町民へのヒヤリングを予定しており、床面積は3000m²で当面は平野地区の山から、原木で1660m³を予定。伐採の積算単価は1m³当たり6000円、搬出単価は1m³2000円と試算している。

問 工はどうするのか。

答 協議した結果、構造材は鹿児島で加工、その他の切り込み加工は島内でと考へている。

問 町立八幡幼稚園の児童数及び職員数は。

答 平成26年度で、児童15名、職員2名、臨時教諭1名。

問 就園奨励補助金の内訳は。

以上、付託された案件は、全て原案のとおり可決すべきものとした。

答 全幼稚園児199名を見込んでいる。多子世帯の保育料軽減事業は17世帯を見込んでいる。

問 防災ヘリへの負担金の中身は。

答 各自治体で事務局の経費を負担するものである。

問 離島緊急医療支援負担金は。

答 防災ヘリに、付き添いの医師が搭乗する経費を含んだものだ。

問 船舶事業特別会計

答 太陽丸の代理店業務は。

問 3社指名の競争入札の結果、今後3年間は、屋久島物

流センターが行うことになつた。

問 昨年暮れのフェリー太陽

の海難事故が、運行違反だと

の指摘を町も認めているのか。

答 認めている。今後海難審判所の決定が下されると思うが、事業管理者として、町長が船員に訓示したところだ。

問 須崎の代理店業務は。

答 森林管理署の支援を受け協議した結果、構造材は鹿児島で加工、その他の切り込み加工は島内でと考へている。

問 町立八幡幼稚園の児童数及び職員数は。

答 平成26年度で、児童15名、職員2名、臨時教諭1名。

問 就園奨励補助金の内訳は。

答 全幼稚園児199名を見込んでいる。多子世帯の保育料軽減事業は17世帯を見込んでいる。

問 庁舎建設の場所の決定をどうするのか。それをいつ議会に提出する予定か。

答 10月までには決めたいと思、いま作業を進めている。

問 入島税は素人が議論しても難しいと思う。総務省あたりに知恵を借りるということはあるが、今までは結論は出ないのではないか。

答 今年中には結論を出すつもりでやっている。しかし、議論が尽くされなければ、もう少し伸ばすということもあります。

問 町長は昨年の世界遺産登録20周年記念で、他の世界遺産地域と連携して、国に対し財源的な要求の取り組みを

したいと表明している。施政方針では触れられていない

が、その思いは。

答 富士山が登録されたと

き、東京都知事をリーダーに

して、遺産地域の連絡会議を

作つたらどうかと思つていた

が、ゴタゴタでダメになつた。しかし、その思いは変わらない。平成26年度には何ら

かのアクションを起こしたいと思っている。

問 宮之浦港への飛鳥IIの接岸の可能性について、国や県との話し合いは今どうなつているのか。

答 現在行われている堤防の移設が平成29年度に完了する。その後北の防波堤を200m延長するというのが、県の計画だが、県、国に対し防波堤の移設が終わったら、飛鳥IIが接岸できるよう9m半バースを作るよう計画変更を要求しているところだ。

問 所信表明の中に、福祉や教育に関する思いが語られる

かったことは残念だ。

問 財政調整基金が昨年から

2億円増えて、14億円に達している。住民に我慢を強いる

政治が続く中で、基金の根拠

は。

答 類似団体と比べたらまだ低いと思っている。合併の特

例期限が切れた後の不透明な

財政状況に備えるためだ。

町長の所信表明についての質疑

一般質問

9人が町の考え方を問う

3月7日と10日に行なわれた一般質問を通告順に掲載しています。

この内容は、議会会議録をもとに質問者の責任において質問及び回答を要約したものです。

なお、会議録は議会事務局・町図書室・各集落の公民館で閲覧することができますので、詳細については会議録をご覧ください。

交通安全対策は

町長／今後も事故防止に積極的に取り組む



真辺 有次 議員

- 問 これについての見解は。
- 答 過去10年間で407件発生し、死者12名、負傷者507名で、今年はすでに2名が亡くなっている。事故の原因は基本的な交通ルールや緊張感の欠如であると思われる。
- 問 近年の人身事故の推移とこれについての見解は。
- 答 道路横断中なので、夕方や早晨の薄暗い時にも早めのライト点灯運動に町をあげて取り組んでみてはどうか。
- 問 警察、各種団体等と協議して一緒に取り組むべきと思う。



高齢者の死亡事故発生現場(屋久島高校近く)

- 問 特に高齢者の死亡事故防止対策をさらに強化すべきと考えるが。
- 答 死者12名のうち、高齢者が11名である。現在、各老人クラブで交通安全教室やナイトスクール等を実施しているが、改善を行ながら引き続き交通安全思想の普及に努めたい。
- 問 ランドより上の通行止めが多過ぎる。紀元杉は冬季觀光の生命線と考え、交通のアクセスは必須である。除雪対策を強化する考えはある。
- 答 距離が長く、湧水凍結も多く、危険性が高い。自然解凍で、冬期対策として里のエコツアーやで対処したい。

オフシーズンとされる冬場の島の観光の在り方を問う

町長／商工観光課にコンベンション担当を配し対応する



日高 忠見 議員

- 問 開散期とされる冬場の対策、年間通じて、来客数の底上げが必要と思うが。
- 答 内外業者の意識改革も必要。自然環境関連の学会、シンポジウム、総会、行政視察等の誘致を図りたい。サイクリング屋久島等もその一環と考へる。

一般質問

問

近々導入される入島税により観光地の整備、新規開拓を望むが。国、県の役割分担にも強く働きかけ、その補足部分に利活用し、観光の安定化を図りたい。



クエン酸に成果を見出だし、

在庫を保有している。必要に応じて駐在員に相談を。堆肥センターのハエの異常発生は、今後、大丈夫だと思うが、事前対策には努めたい。

問	夏場に向け、蚊、山ビール、ハエ等環境衛生への対処は
答	自然環境に留意し、薬剤は使用せず、ヒル対策として取り組みは。



健康の森公園で行われた町体

町民体育祭の開催地を健康の森公園陸上競技場に固定してみては

町長／地域性も考慮し検討したい

問 適宜の観点から、町民体育祭の健康の森公園でとの声も多いが、北西部居住者のアンケート調査も必要では。その様な声も理解している。今後、町体運営委員会等で検討をしてまいりたい。

問 町長／調査、対策を実施して、成果は得ている

答 近年、薬剤散布は見かけなくなつたが、不快害虫に対する取り組みは。

問 一湊中学校は統廃合から一年が経過したが、いまだに跡地の利活用がなされてなく、方向性も示されていない。一湊区は廃校利活用の先進地視察等を行い地域をあげて取り組んでいるが、町として早急に広く利活用の公募を行い、施設の有効な利活用策を図り地域振興策の一助とすべきでは。

答 学校跡地施設の活用方針がようやく策定されたので、地域の要望に最大限配慮し、企業誘致や中長期の町づくりの課題に対応可能な企業や団体を、町のホームページ等で近々広く公募する。

問	クリーンサポートセンターは施設の検討段階にあるのです
答	町長／炭化物処理に苦慮している、関係機関で検討し展望を見出した



早急な利活用を(一湊中跡)

閉校してから一年。遅々として進展しない一湊中跡地の利活用策は

町長／利活用提案の募集を町のホームページに掲載し、地域の要望に応えたい



寺田 猛 議員

利用の手立てを見い出せない

炭化物の処理費や、複数回にわたる炭化処理施設の修繕等は、開設当初の想定をはるかに超えるものであると思う。効率性の観点から、施設の停止や新設等の検討段階に来ているのでは。

答 炭化物の処理に苦慮しているが、施設の償還期限が残り9年あるので内部努力をしながら経費削減に努めたい。三・四年を目処に施設の新設計画等の将来展望を具体的に検討したい。

問 今回の海難事故を教訓として、より安心・安全な運航体制に務める

問 今回、海難事故を教訓として、より安心・安全な運航体制に務める

答 口永良部島民をはじめ町内外にご迷惑をおかけした。安全最優先に町民から信頼される運航体制に務めたい。

一般質問

監査執行体制の強化と外部監査の導入について

町長／制度の重要性、必要性は理解している



小脇 清保 議員

いかがですか。

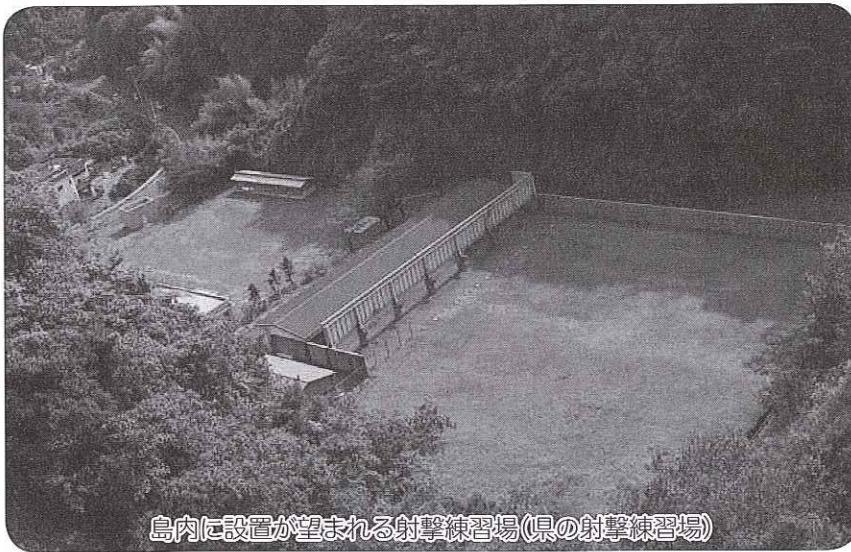
答 職員の配置は、基本的に同一箇所に長く置かない考え方であるが、なるべくベテラン職員を配置する事は考えてい

問 予算執行の適正、透明性を確保する為、体制の強化は欠くべからざるものである。包括的外部監査であれば多額の経費を必要とする。年度毎に個別監査にならうかと考えるが、その考えはあるか。

答 現行体制を維持しながら補完監査としての随時監査を強化し、監査機能の充実を図るよう努めてまいりたい。

滞納整理機構設立について

問 整理機構は職員でなく、全くの部外者であれば効果も有り、雇用促進にもなるが、



島内に設置が望まれる射撃練習場(県の射撃練習場)

射撃練習場設置の要望

町長／充分検討して補助対象があるか働きかけ

問 猿友会がなければ一次産業は成り立たない現状である。会員の技術の向上を図り安全を確保する観点から設置が必要と考える。北海道では

自治体が設置した所もある。

答 積極的に働きかけて検討すると同時に、免許更新時の費用負担は行政として考えて参りたい。

町長は庁舎建設地を既に空港周辺と決めていいのではないか

町長／そういうことはない

問 庁舎建設検討委員会の資料には、この5年間の震度1以上地震発生が、宮之浦で49回、小瀬田で19回とのデータが付されている。これは、委員に宮之浦は危険、移転先としてふさわしくないという先入観を与えるのではない。屋久島での地震は、3程度が最高値。仮に地震で庁舎が倒壊したとしたら、それは設計ミスか、手抜き工事以外ありえない。なぜこんなデータが必要なのか。また空港周辺の気象だけが資料として掲載されていることも理解できない。町長は新庁舎をもう既に空港周辺と決めているのではないか。

答 位置はまだ決めていない。過去、屋久島の地震は最大震度3ぐらいだとと思う。地震のデータは、建物の構造などに影響することから出したもの。気象データは、屋久島の代表的な観測地点の気象を出したもので、指摘されて、そういう捉え方もあるのかと思っている。

今後は、検討委員会で決める前に、議会や町民の声を十分聞いて最終判断をしていきたい。

問 体育館への往復で雨に濡れる。濡れたままで、また勉強を続けるということを、こ

教育長／耐震強化など、優先課題の終了後に、事業計画に盛り込んで検討していきたい

中央中、小瀬田小の体育馆までの渡り通路の検討を

問 体育館への往復で雨に濡れる。濡れたままで、また勉強を続けるということを、この先ずっと子供に強いていくのか。多額の予算是かかるが、検討すべきではないか。

答 かねてより学校から上がつてきている要望だ。しかし、今は大震災の教訓を受け、各

一般質問

学校の耐震強化、老朽化対策などを優先しなければならない実情がある。その終了後、事業計画の中に盛り込み検討していきたいと考えている。

「法務事務専門員」は無駄遣いではないか

町長／行政上の効率性などから必要と考へてゐる

顧問弁護士契約が「法務事務専門員」と形を変えて、しかも40万円も経費を増やして継続されようとしている。県町会加入で法務関連の相談はできるのに、これは全くの無駄遣いではないか。

答 これまでの相談件数はH24年度、25年度で47件となっている。この体制は諸問題の早期解決、行政上の効率性、職員の精神的負担の軽減、職員の研修などにおいて必要と考えている。

利用されていない町有地を利活用する為、公募によって貸し出す考えは

町長／民間の要望に応えながら長期的な事業計画を公表して検討する



真辺 万里 議員

の利用も含め運動させて島外からも誘致できないか検討する。

中間・栗生間の迂回路の現状はどうなっているのか



旧測候所(一湊)の利活用は

町長／補助事業導入は無理となり、区と協議を重ねた結果、現道と地元にいる相続可能な土地を利用して道をつくることで同意を得ておらず、今年度から工事をすべく予算を計上している。

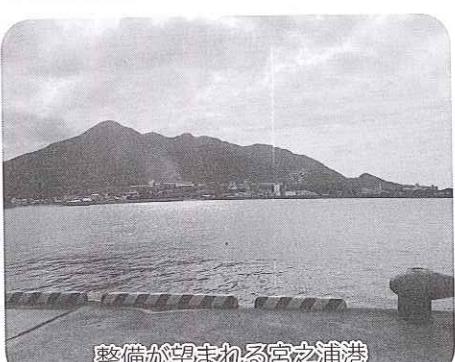
答 地域振興策の一つとして、企業誘致、中学校の跡地を含め町有地の利活用はどうする。

北部地区の海岸線の越波防止対策は

町長／県当局と具体的な工法等協議を行い、対策を講じる

台風接近のたびに、本土へ避難しなくともよい良好な港の整備を進めるべきでは

町長／このことを解決するため県当局に相談してきた。現時点では台風における避難港の整備は無理があると言わされている。しかしながら、宮之浦港の整備がある程度のめどがたつたら県に協議を申し出したい



整備が望まれる宮之浦港

第1回議会定例会 行政報告

○成人式について

1月3日 離島開発総合センターで開催

・新成人132名参加

○消防出初式について

1月5日 宮浦小学校及び

離島開発総合センターで開催

・9分団と婦人消防隊、総勢300名が参加

○第27回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会について

1月26日 霧島市で開催

・熊毛チームは、総合8位で悲願のCクラス優勝

○2014サイクリング屋久島大会について

2月16日 島内一円で開催

・総勢232名参加（島内の参加者107名）

○第61回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会について

2月19日から5日間 県下一円で開催

・熊毛チームは総合10位

一般質問

公共施設間の情報通信ネットワークの完全整備は

町長／H27年度以降に高速通信網のあり方について検討していく



山崎 利広 議員

問 合併以来、情報通信ネットワークが未整備のままの永田・栗生・口永良部出張所に

光ファイバを整備し、各集落の公民館と結ぶことで町全体で議会放映や窓口サービスを公民館で受けられる体制作りが可能となるが、このことについてどう考えるか。

答 本年度で防災行政無線の整備が完了するので、H27年度以降、地域公共ネットワーク整備を含めた高速通信網のあり方について検討していく。

問 屋久町テレビ共同受信施設組合（テレビ難視聴地域の麦生・栗生の約1400世帯が加入）の受信アンテナから各集落の幹線は既に光ファイ

農業振興ビジョン策定のこれまでの取り組みと今後の対応は

町長／各課題整理が終わり、今後農家等と意見交換会を行ない、より現状に即した振興計画を策定したい

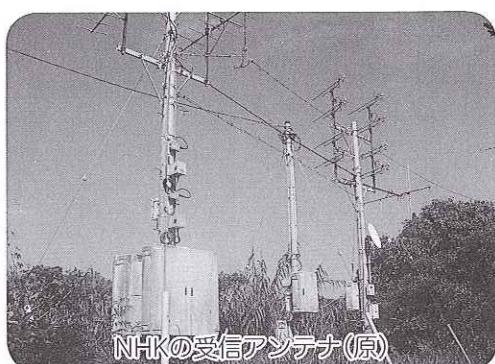
問 前年度の施政方針で述べた町の農業の将来像を数値を含めて描く農業振興ビジョン策定について、これまでの取り組みと今後の対応は。

答 農業政策データを基にした過去20年の農地面積の動きや鳥獣被害の状況、農作物の生産状況、販売状況等の課題整理が終わり、これを基に係機関等に今後の振興方策について意見提出をお願いしてい

る。今後、幹線から先の各家庭までを全て光ファイバで接続にすることになり、H27～30年度に工事が行なわれるの

で、この空き回線を町が利活用するために、総務省と協議する考えはないか。

答 企業誘致の面からも光ファイバの必要性は十分感じているので、今後検討したい。



新たな財源について

町長／入島者に応分の負担をしていただき



日高 豊 議員

問 入島者の負担の目的は何か。

島における環境の保護保全のために必要な事業を継続的に実施するための財源として利用者に負担を求めるものである。

問 利用者に負担を求めると6月頃に農家や関係者と意見交換会を行ないより現状に即した振興計画を策定したい。

問 品目ごとに振興策や対応策を打ち出す必要があると思うがどのような形になるのか。

答 国の責任すべて行っていただきことが最良であると

考える。指摘の懸念を持つ部分もあるので、今後もその責分担の明確化には努力をしていく。

問 結論を見出す時期の見通

は。 しあう。 が、島の将来を左右する問題であるので、慎重に議論を行なう。



町営診療所の今後について

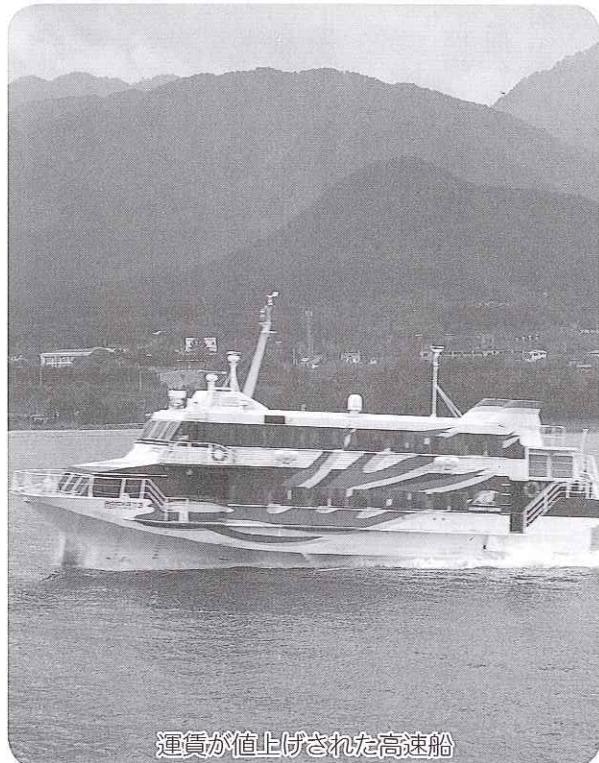
町長／地域ごとの要求にどのように答えていくかが課題である

問 口永良部診療所の医師確保は当然として、無医期間の安心感の醸成のために遠隔医療の取り組みを行うべきではないか。

一般質問・議会運営委員会



医師の確保がなった栗生診療所



運賃が値上げされた高速船

答 必要性については十分に感じている。今後口永良部島に住む人たちが安心安全に暮らせるような体制作りが必要である。

問 地域に安心感をもたらすために診療所が必要であるとすれば、地域・医師・町の三者がうまくコミュニケーションをとるための場所、組織といたものが必要ではないか。大変だと考えますので、今後検討をしていく。

答 地域・医師・町で意思疎通を図っていくことは非常に大事だと思われますので、今後検討をしていく。

離島航路の現状と課題について

町長／運賃改定に当り陳情要望書を高速船会社へ提出したい

石田尾 茂樹 議員

高い運賃を払い苦しんでいます。高速船会社合併後の運賃の推移に対する町長の認識は。

答 運賃改定に当たって島民生活等への影響を十分考慮し適切な配慮を求め種子屋久振興協議会で要望書を提出している。今後も郡内の市町と連携をとり対処する。

棺の搬送について

町長／補助について検討する

問 家族等が鹿児島での入院等で看護や見舞いで病院費用まで3回の運賃値上げの改定が実施され、島民は、非常に

答 鹿児島商船とコスモラインが会社を合併し、新会社の種子屋久高速船になり、現在まで3回の運賃値上げの改定が実施され、島民は、非常に

がかかるなか不幸にしてお亡くなりになり、屋久島に付き添つて帰る際の、フェリー屋久島2の靈安室の使用料の補助は出来ないか。

答 屋久島町靈安柩輸送費等補助措置要綱に基づく、口永良部島民の経済的負担の軽減を図る目的の五万円を限度とした補助を参考に内部で協議していく。

公営住宅の建設について

町長／財政当局と連携をとり公営住宅の建かえを検討する

問 近代的な若者が定住できる住宅を建設するべきであり、町有地の問題等を考慮してかえを推進すべきではないか。

答 宮之浦、安房に建てかえる対象の住宅がある。耐用年数を経過した古い住宅棟から順番に事業着手する計画であるが、財政の問題や、空き屋の待機者及び民間アパートの空き家の状況等を考慮しながらしていく。

議会運営委員会報告

◇第1回（3月3日）

- 平成26年第1回議会定例会の運営等について

○審査事項

- ①会期及び日程等

- ②最終本会議の議事日程

- ③議会報告会の開催等について

◇第2回（3月28日）

- ・議会報告会の実施計画について

実施概要等の協議

- ・議会報告会の実施について

◆第3回（4月28日）

- ・議会報告会の実施について

①実施要領の検討

- 目的等の確認及び報告内容、役割分担、会

- 次第等について協議

②開催要領の検討

- 開催日程、場所、周

- 知方法、質疑の対応等について協議

議会全員協議会協議報告

【平成26年3月10日開催】

○町長部局

1 繩文杉展望デッキの改修について

○議会関係
1 県議長会事務局職員による業務上横領事件について

- ・代替デッキの広さは、どのくらいか。
- ・などの質疑があった。

員長を、また増員分については寺田猛議員を推薦することにした。

3 体育協会の議会選出理事の選任について

岩川修司議員を選任することとした。

【平成26年3月19日開催】

○議会関係

1 交通対策特別委員会の設置について
今回の発議は見送り6月議会までに協議することとなつた。

【平成26年4月28日開催】

○議会関係
1 議会報告会の実施について

27日 第5回ふるさと産業祭り…各議員出席
28日 第3回議会運営委員会
第4回全員協議会
30日 種子島屋久島振興協議会総会(西之表市)

5月 1日 屋久島世界遺産センターリニューアルオープ記念式典…議長出席
14日 熊毛郡町議会議長会定期総会(鹿児島市)
県離島振興市町村議会議長会研修会・臨時総会(鹿児島市)
15日 町村議長会臨時総会(鹿児島市)
議員研修会(鹿児島市)
18日 第4回屋久島町消防操法大会(尾之間)
19日 議会報告会(尾之間中央公民館)
20日 議会報告会(安房公民館)
21日 議会報告会(一湊公民館)
22日 議会報告会(宮之浦公民館)
24日 日田市川開き観光祭(大分県)…議長出席
25日 公益財団法人日本青年会議所九州地区鹿児島ロック大会in屋久島式典…副議長出席
26日 第1回臨時会
27・28日 全国町村議会議長・副議長研修会…議長・副議長出席

議会動向〈平成26年3月～5月〉

3月	3日	第1回議会運営委員会
	10日	第2回全員協議会
	11日	第1回定例会開会(～20日まで)
	13日	各中学校卒業式…各議員出席
	19日	第3回全員協議会
	20日	最終本会議
	24日	各小学校卒業式…各議員出席
	25日	第2回山岳部利用対策協議会…議長出席
	28日	第2回議会運営委員会
4月	1日	県議長会第1回理事会…議長出席
	3日	あゆみの森幼稚園落成式…議長出席
	7日	各小・中学校入学式…各議員出席
	10日	転入教職員宣誓式…議長出席
		春の交通安全運動街頭キャンペーン
	15日	種子島屋久島観光連絡協議会監査…議長 議会事務局職員研修会(鹿児島市)
	19日	屋久島海まつり…各議員出席
	23日	県政説明会…議長出席
	24日	町村議会議長会第1回幹事会

いから。
・北側デッキの撤去は27年
度にずれ込むのではないか。
・将来に向けて協議は進んで
いるか。
・南側デッキを広くすべ
きではないか。
・南側デッキに集中するの
ではないか。

その後、議員から
・南側デッキと繩文杉の間
には30mと理解して良い
か。
・南側デッキに集中するの
ではないか。
・南側デッキを広くすべ
きではないか。
・将来的に協議は進んで
いるか。

分してほしい。
・各議員への影響はないの
か。などの意見等が出され
た。
・議員への影響はないの
か。などの意見等が出され
た。

なが、全議員が報告会に出
席することを確認した。

今回1名増という要請があ
る。

全員協議会・議会動向

米田屋久島森林管理署長、
加藤自然保護官、屋久島事務
所小村総務企画課長らに出席
いただき、世界自然遺産地域
連絡会議提供資料に基づき
(1)これまでの経緯と代替
デッキの新築について
(2)繩文杉とデッキの現状
(3)撤去するデッキの代替
デッキの案の平面イメージ
の説明を受けた。

（1）繩文杉展望デッキの改修
について

鹿児島県町村議会議長会田
之畠会長より文書で、業務上
横領事件への対応等について
開催、2月14日には臨時総会
を開催し、本事件に関する説
明を行い、会務報告並びに平
成26年度事業計画及び予算に
ついて了承され、2月19日に
弁護士を通じて告訴状を提出
した旨の説明があつた。

これを受け、議員より
・やつてはならないことを
やつたのだから、厳しく処
とした。

日程を5月19日から23日ま
でとし、進行の担当を正副議
会運営委員長、概要報告の担
当を各常任委員長とすること
とした。

また、全議員の役割分担等
について議会運営委員長より
説明があり、それぞれの役割
分担を決定した。

議会報告会・シリーズ学校紹介

議会報告会を開催しました

屋久島町議会基本条例（平成25年10月1日施行）の町民参加及び町民との連携に関する条項に基づき、「議会活動の状況等を町民に直接報告・説明し、議会の説明責任を果たすとともに、町民の意見等を聴取して議会運営の改善を図ること等」を目的に、5月19日から22日まで町内4か所で議会報告会を開催しました。

今回、初めていうこともあり、議員全員参加で開催することにし、今後は皆様方からのアンケート等を参考にしながら開催方法や内容等を検討していくことにしています。

なお、報告会の詳細については、次号の議会だよりでお知らせします。参加者数は次のとおりです。

19日	尾之間会場	16人
20日	安房会場	20人
21日	一湊会場	17人
22日	宮之浦会場	16人

永田校区について

永田校区は、宮之浦港から約22km北西に位置し、人口487人、世帯数261戸（H26・3月末現在）で構成されています。集落からは、標高1886m（九州第2位）の永田岳を眼前に望むことができる風光明媚な郷です。

また、ウミガメの産卵地として有名な「いなか浜」と「前浜」は、ラムサール条約登録地としても知られています。

永田小学校は、創立138年の歴史があり、多くの人材を排出してきた学校です。

平成25年4月、永田中学校が中央中学校に統合され、小学校に寄せる校区民の期待はさらに大きくなり、現在は学校と校区が一体となつた教育活動を展開しています。

永田小の一事徹底事項について

永田小学校では【よあけ】の教育の実践に取り組み、目指す児童像を設定しています。

よ॥よく考え進んで勉強する子ども

（自主・創造・自学）

あ॥明るく思いやりのある子ども

（礼儀・快活・協力・謙虚・親切）

け॥健康でがんばりぬく子ども

（健康・責任・努力・忍耐・勤労奉仕）

本年度、特に子どもたちのあいさつが、もっとよくなるように、本校では一事徹底「さわやか あいさつ 永田小」を設定しました。

あいさつは「人と人をつなぐ」と言われています。これから成長し、自立するためにはあいさつは社会の基本だと考えていました。

永田の子どもたちがいつでも、どこでも、誰にでも笑顔のとおりです。

シリーズ学校紹介③ 永田小学校

ができるよう地域や保護者の皆様と共に取り組んでいきます。



いかだレースに興じる子どもたち

幼・小・中の連携について

北海道	14	宮城	2	茨城	7	栃木	3	千葉	3
埼玉	10	群馬	1	東京	36	神奈川	30	静岡	2
石川	5	長野	1	富山	2	岐阜	7	愛知	8
和歌山	1	京都	6	大阪	10	兵庫	2	鳥取	2
香川	1	福岡	28	長崎	3	熊本	2	宮崎	2
鹿児島	19	沖縄	1						

平成26年4月より永田幼稚学級が小学校校舎内に移設されました。永田幼稚学級の創設は昭和35年で、たいへん長い歴史を持っています。「人の子も わが子もおなじ 永田の子」。キャッチフレーズに表れているように教育に関する意識の高い永田区で、これからさらに幼・小・中の連携・協力態勢の充実が期待されています。

お知らせ

投稿写真募集

投稿写真

日高 順一様（原）



石楠花のブーケ〈ジューンブライドにお薦め〉
(宮之浦岳北側斜面にて)

風景・行事等テーマは問いません。
このコーナーで紹介したい写真をお持ちの方、ぜひご提供ください。
一言、写真の説明文を添付していただければたいへん助かります。
不明な点がありましたら、議会事務局へお問い合わせください。
採用された方には、粗品を進呈いたします。

クイズ

◆ 締切日 平成26年8月8日(金)消印
◆ 有効

問① 平成26年度一般会計
当初予算はいくらか。
() 円

② 平成26年度までに、
かめんこ留学生を何名
受け入れているか。
() 名

③ 1月3日に開催され
た成人式へ参加した新
成人の数は。
() 名

電話 4315900
(内線372)
クイズ係

▼ 25号の正解は、次のとおり
です。
問1 2266(校)

問2 1(万円)

問3 134(年)

○ 正解者の中から、抽選によ
り、次の方々に図書券をお贈
りしました。

※ クイズの正解者の中から抽
選により、3名の方に図書券
を進呈いたします。

◆ 応募方法

住所・氏名・年齢を明記の
上、ハガキで下記へご応募く
ださい。

○ 松本 沙也 様(春牧)
○ 渡辺 恵児 様(中間)
○ 寺田 明兎 様(吉田)

4月からの消費税8%への増
税に、不安や不満の声が広がっ
ています。特に「年金も減つ
ちよつとに」と二重の負担感を
強く感じているのが特徴です。
また、「生活が苦しくなれば、旅
行どころではない」という心情が
広がるのでは」と観光関係者も
将来への不安を隠しません。「ア
ベノミクス」は島のはるか上。
支出ばかりが増える。町民には
閉塞感が募る話ばかりです。い
ま大事なことは、広がる閉塞感
や不安感を少しでも和らげる手
立てです。「町民生活応援の政治」
がいまこそ求められているので
はないでしょうか。もちろん、
この仕事は当局だけに求められ
ているものではありません。議
会も同様です。始まった「議会
報告会」。町民の政治への思いを
しっかりと受け止め、町政に反映
する場にしたい。町民の暮らし
を守るために車の両輪の真価が
問われる始まりかもしれません。

議会を見にきませんか

- ・ だれでも自由に傍聴できます。
- ・ 受付簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

◎ 議会(定例会・臨時会)は
宮之浦支所と尾之間支所で開催されています。

6月1日から11月30日までは…宮之浦支所議場
12月1日から5月31日までは…尾之間支所議場

編集後記

発行責任者
議長 日高好作
編集責任者
議会広報委員会
委員長 山崎利広
副委員長 緒方健太
委員 渡辺博之
真辺有次